



森の中での笑顔と森から消えたもの

1月21日に開催された「よこすか環境フォーラム」において、C.W.ニコル氏による講演会(「森からみる未来」)が行われました。

ニコル氏は、来日して50年となるそうです。日本古来の武術である空手を学びに来たのが来日の目的でした。その後、世界各地で環境保護活動と作家として活躍する一方、1980年に長野県黒姫に居を定め、荒れ果てた里山を購入し「アフアの森」と名付けて再生活動を行いました。

再生された森に子どもたちを招き自然に触れさせると、森は子どもに元気を与え、子どもたちはいつのまにか笑顔にあふれるようになるということです。また、ゲーム・テレビだけで遊ぶことの弊害についてもふれ、森で遊ぶことは、子どもの脳の発達においても有益であると述べられていました。

一方で、ニコル氏は、来日した当時に比べて、日本の森から消えたものをあげられていました。それは、「森で遊ぶ子どもたち」の姿です……。

自然の中の幼稚園「森のムッレ」

自然環境の中で幼児教育を行う「森の幼稚園」を知っていますか? 北欧の国が発祥とされ、スウェーデンでは「森のムッレ」と呼ばれています。

スウェーデンの学者の共同研究で、森に出かけて一日中自然のなかで遊ぶ野外保育園の園児は、通常の保育園児に比べ、身体能力が優れているだけでなく、集中力や人の話を良く聞くなどといった効果も確認されています。自然のなかでの学びが子どもたちの心身の発達にとってとても重要との報告がありました。



(「今後の環境教育・普及啓発の在り方を考える検討チーム」報告書よりhttp://www.env.go.jp/policy/edu/team_rep/index.html)

自然のぬくもりの心地よさは、見る、聞く、嗅ぐ、触れる、味わうと五感を使って楽しむことができます。これは子どもだけでなく、大人も同じです。

またその体験から、環境や自然の素晴らしさ、大切さまたは、怖さなどを意識し、自分自身も自然の一部であると感じられることにつながっていきけるのではないのでしょうか。

裏面には季節の生き物図鑑「目ざめの春 ～春の昆虫たち～」の掲載があります。

春の環境学習講座などのお知らせ

すかっ子セミナー2012 参加者募集

＝小中学生の土曜体験プログラム＝

市内の活動団体が月1回土曜日に、小中学生を対象に得意分野のプログラムにより実施します。

(詳細は募集チラシ参照)

- コース
- ・生活環境系：エコニコ・サークル(10名)
 - ・自然系A：川がき探検隊(20名)
 - ・自然系B：自然博士になろう(15名)
 - ・自然系D：海っ子・山っ子・もういっこ
 - ・自然系E：すかっ子ヨットクラブ
- (環境系以外のコースもあります)

活動期間 2012年5月～12月(原則土曜日、各1回)

対象者 小学校4年生～中学生(小3以下は相談ください)

参加費 4,000円(自然系Eは他に特別参加費10,000円)

申込み 4月1日～27日(必着)

〒238-0041 横須賀市本町3-27

市民活動サポートセンター内レターケースNo.66

「すかっ子セミナー実行委員会」

主催 すかっ子セミナー実行委員会(15市民活動団体)

問合せ：事務局(YPS) Tel(823)1965(藤澤)

横須賀市市民大学 前期講座

「三浦半島の自然」【横須賀市自然・人文博物館協力講座】

期 間 6月7・21日 7月5・12日 9月13・20日

11月8・15日 各日とも木曜日 午前10時～12時

会 場 博物館(※フィールドワーク有り)

受講料 4,800円

「人と栖(すみか)～三浦半島の断層と谷戸の記憶～」

期 間 6月8・22日 7月6・20日 9月14・28日

10月12日 各日とも金曜日 午後1時30分～3時30分

会 場 生涯学習センター(※フィールドワーク有り)

受講料 3,700円

※フィールドワークの日は1日の行程です。締切は4月22日(日)
詳細は、生涯学習センター、市役所、行政センターなどにある横須賀市市民大学募集要領または、生涯学習センターホームページ(<http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/>)をご覧ください。

問合先 生涯学習センター(まなびかん)

〒238-0046 西逸見町1-38-11(ウェルシティ内)

TEL 046-822-4873

キッズ自然教室(カブトムシ)

日 時 4月21日(土) 午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:00～15:00
(雨天翌日延期)

場 所 光の丘水辺公園

内 容 カブトムシ幼虫の採取を行い、飼育方法を学ぶ

費 用 50円(保険料)

対 象 小学生

定 員 各回抽選20名

申 込 必要事項と年齢を記入して下記申込先へ

締 切 4月10日(火)

申込・問合先

横須賀市都市施設公社 公園管理課

「自然教室カブトムシ」係

〒238-0051 横須賀市不入斗町1-2

TEL 046-823-9444

横須賀市自然・人文博物館

特別展示「三浦半島の干潟」

日 時 6月10日(日)まで

場 所 横須賀市自然・人文博物館(本館)
3階特別展示室

自然観察会「海藻入門」

(協力：東京海洋大学藻類学研究室)

日 時 4月21日(土) 10時～15時

場 所 天神島臨海自然教育園

定 員 抽選20名 小学生以上

(ただし、小学生は保護者同伴のこと)

費 用 保険料50円

締 切 4月7日(土)

申 込 希望者は、往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に
ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。
希望者多数の場合、市内在住者を優先します。

問合先 横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95

TEL 046-824-3688

5月21日(月) 朝に金環日食が見られます

「日食」は、太陽の手前を月が横切るために、太陽の一部または全部が月によって隠される現象です。太陽のほうが月より大きく見えるために月のまわりから太陽がはみ出して見えるときは「金環日食(または金環食)」と呼ばれます。

時間：東京の場合 食の始め6時19分 最大7時34分 食の終り9時02分

次に日本で見られる日食(金環日食・皆既日食)は、2030年6月1日の金環日食ですが、観察場所は北海道の大部分だけです。

< 観察方法にご注意ください >

安全な観察方法

○日食専用のガラスや遮光板を使う ○ピンホールを利用する ○木漏れ日を見る ○手鏡を使い壁に反射させて見る など

やってはいけないこと

○肉眼で直接太陽を見る ○望遠鏡や双眼鏡を使う ○色つき下敷きやCDを使う など

正しい知識がないまま太陽を観察すると、目を痛めたり、最悪の場合失明したりする危険性があります。詳しくわからない場合には、自己流の方法を試したりせず、必ず専門家の指導に従ってください。また、学校の生徒の方は、通学途中の時間帯ですので、観察する際は、安全な場所・方法をご家族の方や先生に相談しましょう。

詳しくは、国立天文台ホームページをご覧ください。

<http://naoicamp.mtk.nao.ac.jp/phenomena/20120521/>

「よこすか環境フォーラム」が開催されました

当日の様子や、ニコル氏とのディスカッションに登壇された環境教育・環境学習ネットワーク会議の高橋委員、橘委員の感想を紹介します。

自然環境の保全・活用に向き合って実践されているC.W.ニコルさんのお話には共感するところがたくさんありました。横須賀には横須賀の自然がありますので、それにあった持続可能な保全・活用を考えて市民で共有できればと思います。

フォーラムには、たくさんの参加がありました。 ”こども環境フォーラム”の感があります。 ”よこすか環境フォーラム”の名にふさわしい、すべての市民・行政などの環境活動の発表、意見交換の場になることを期待します。

横須賀「水と環境」研究会代表
すかっ子セミナー実行委員長 高橋 弘二



津久井小6-3は、地域の方や環境教育指導者の方等、いろいろな人にご協力をいただき、地域の自然・環境について学んできました。この活動をよこすか環境フォーラムで発表しました。

発表後の感想には「自分の気持ちを伝えることができてうれしい。」「ニコルさんの話や他の発表が勉強になった。」「緊張しただけ発表をほめてもらえて良かった。」等の言葉が。子どもにとって、自然・環境について考える特別な学びの場となったようです。

津久井小学校 教諭 橘 恒仁

《児童・生徒の皆さんからの参加後の感想》

「自分達の活動をたくさんの人に知ってもらえてよかったと思います。」

「みんなが書いたポスターを見てもらえてすごくうれしかったです。」

「まさかE C O大賞（小中学校部門賞）に選ばれるなんて！がんばってきて良かった。」

「動物クラフトは学校でもできそう。ぼくたちが準備して、後輩たちにやってあげたい。」

「もう一回出たい。」「来年も（環境フォーラムに）行きたい。」などの感想がありました。



環境フォーラムで横須賀E C O大賞、環境ポスターコンクールの表彰式が行われました。



「選んで作ろう！動物クラフト」
環境フォーラム当日は、動物クラフトのフロアショーも行われました。



こどもエコクラブに入って“環境フォーラム”に参加しよう

「こどもエコクラブ」は幼児（3歳）から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。活動を支える大人（サポーター）と一緒に、家庭や学校、地域の中など、身近な環境活動を行います。

横須賀市では、この「こどもエコクラブ」の活動、例えば『市内の川の探検』や『街に花を増やすプロジェクト』などを“環境フォーラム”で発表をする経験の場として参加していただいております。

登録料や年会費はもちろん無料！興味がある方は横須賀市環境企画課
(Tel : 046-822-8327 E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)
までお気軽にご連絡ください。





だんだんと春を感じられる陽気になってきました。暦のうえでも3月上旬（6日前後）は「啓蟄（けいちつ）」と呼ばれ、陽気にさそわれて地中の虫が顔をだす季節とされます。

気温があがり、花が咲き、新葉がのびる春は、冬を耐えた昆虫たちがふたたび活発になる季節です。ただし、横須賀では啓蟄から活動している昆虫はすくなく、成虫で冬ごしをする昆虫（蝶ではキタテハ〔写真①〕やキタキチョウなど、甲虫ではアオオサムシ〔写真②〕など）を見るくらいです。2～3週間して桜がさく頃になると、さなぎで冬ごしをするモンシロチョウなどが羽化して花にあつまるとようになります。花にはまた、ミツバチの仲間（ニホンミツバチやキムネクマバチ〔写真③〕など）も見かけるようになります。

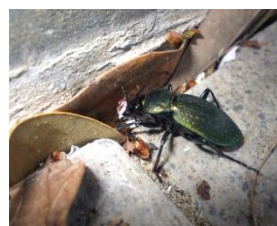
寒暖の差がはげしく感じられるのも春の特徴です。アシナガバチやスズメバチの仲間は、秋に巣立った新しい女王バチが単独で冬ごしをして、春に活動をはじめます。しかし、暖かな春の日々に急な冷え込みが戻り、せっかく目ざめたのに寒さで弱って道ばたに横たわった女王バチ〔写真④〕を見ると、春のきびしい一面を垣間見せられたように思えます。

暖かくなるものの安定しない春の気候で、昆虫たちが急ぐように活動をはじめるのはなぜでしょうか。その理由の一つに冬ごし明けの資源競争（しげんきょうそう）があります。咲いたばかりの花の蜜をひとり占めしたり、のびたばかりの若芽に産卵したりすることで、他の虫よりも長く移動できたり、生まれた幼虫にやわらかい葉を食べさせたりできるのです。

ゴールデンウィークが近づくと、アゲハの仲間（アゲハ、モンキアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ〔写真⑤〕など）が目立って飛ぶようになり、目にする昆虫の種数も急激にふえていきます。今年の春は、日増しに活発になる昆虫たちのくらしに注目してみませんか。



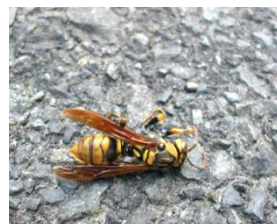
写真① キタテハ



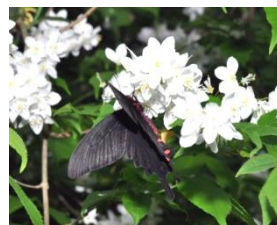
写真② アオオサムシ



写真③ キムネクマバチ



写真④ キアシナガバチ



写真⑤ ジャコウアゲハ

横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員
環境教育・環境学習ネットワーク会議委員

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

